

温泉施設を利用した地域連携交流会と 院内集団教室の運営によるチーム医療力 とモチベーションの向上をめざして



独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター

栄養管理室¹ 糖尿病内科²

市立宇和島病院 消化器・糖尿病内科³

田中哉枝¹ 廣岡可奈² 首藤祥子² 山内一彦³ 大西美夢¹ 西原麻菜¹
谷脇楓佳¹ 渡部紀子¹ 関谷健佑² 古田 聡² 大藏いずみ² 久保義一²



日本糖尿病学会 COI 開示

発表者名：◎田中哉枝、廣岡可奈、首藤祥子、山内一彦
大西美夢、西原麻菜、谷脇楓佳、渡部紀子
関谷健佑、古田 聡、大藏 はずみ、久保義一

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

はじめに

- 当院は、患者さんの思いに寄り添いながら、地域に根差した糖尿病医療を行うことを目的に、2011年に糖尿病医療チームを発足した。
- 意思伝達がスムーズな組織作りと、段階的なスタッフ教育・チーム活動を行うことで、団結力の強いチームができ、モチベーションの向上が図れているので、発足からの活動内容を報告する。

糖尿病医療チーム立ち上げの取り組み

- 2011年4月：糖尿病学会認定指導医が赴任
- コアメンバーが集結

看護師（糖尿病に強い看護師育成研修終了）

→（CDEJ、L-CDE）

管理栄養士（CDEJ）

- 多職種チームメンバーの招集

各職種の管理職を含む

→ トップダウン指示命令系の確立

意思決定や伝達がスムーズ



糖尿病 医療 チーム 組織図

参与 統括診療部長 副看護部長

委員長

糖尿病指導医

副委員長

栄養管理室長

看護師長

メンバー

医師

看護師

薬剤師

理学療法士

臨床検査技師

管理栄養士

事務
(経営企画室長)
(経理・医事算定係長)

地域連携室
(医療ソーシャルワーカー)

スタッフ教育

- 院内研修会で、やる気のある人材を発掘
- 基礎学習から必要なスタッフには基礎編として初心者コースの勉強会
- CDE受験前には受験対策塾（合格率100%）
- CDEは院内外の研修や学会に積極的に参加し、講師やファシリテーターなどを経験

段階的な教育を行うことで、
ボトムアップにつながった

講義型糖尿病教室

年4回 参加人数約70名

講義：院内外のスタッフの講義

ちよこつと運動：その場でできる運動を理学療法士が指導

お楽しみデザート：管理栄養士手作りのデザートを提供

患者さんもスタッフも知識を得る場



モカチョコプリン

【材料】

	1人前
牛乳	55g
純ココア	0.6g
インスタントコーヒー	0.6g
砂糖	4.5g
粉ゼラチン	1.6g

【栄養量】

熱量kcal	62
たんぱく質g	3.0

【作り方】

- ① 粉ゼラチンは水5gでふやかしておく。
- ② 鍋に半量の牛乳、ココア、コーヒー、砂糖を入れ、加熱しながら混ぜる。
- ③ 全体があたたまったら、ふやかしたゼラチンを入れる。
- ④ ③を火からおろし、残りの牛乳を入れ、カップにそそぎ、冷蔵庫で冷やし固める。

(独)国立病院機構 愛媛医療センター 栄養管理室

スキルアップしたスタッフたちの声

患者さんに
横のつながりを
持たせてあげたい

楽しく学べる参加型
教室をしたい

マンネリ化を
防ぎたい

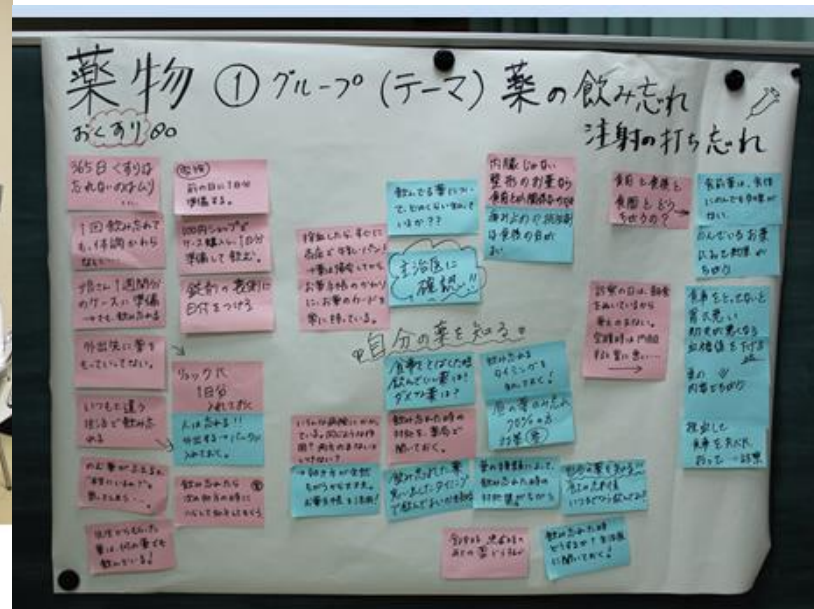


患者参加型糖尿病教室

- ・各グループにCDEをファシリテーターとして配置
- ・テーマに沿って患者主体で話し合い、最後に発表



(2015年6月5日開催)



参加型糖尿病教室開催による スタッフへの効果

- 患者さんの反応→モチベーションアップ
- メンバーそれぞれの活躍と相互理解
→チームの団結力
- 段階的な成功体験→自己効力感アップ

チーム医療力

モチベーションの向上



地域連携交流会開催のきっかけ

気軽に紹介しあえる地域連携
顔が見える付き合い
気さくに話せる場…

人の輪、
仲間の輪を広げる



温泉施設を利用した

地域連携交流会



令和元年度 第1回 生活習慣病エリアミーティング

日時: 2020年2月13日(木) 19時00分～

会場: ホテルメルパルク松山 1階「ボヌール」

松山市道後姫塚123-2 TEL: 089-945-6411

【製品紹介】 18:50～ 高脂血症治療剤「パルモディア錠0.1mg」 興和株式会社

【Opening remarks】

愛媛医療センター 院長 岩田 猛 先生

【講演】 19:15～19:45

座長: 愛媛医療センター 栄養管理室 室長
日本病態栄養学会 学術評議員 田中 哉枝 先生

「本当は怖い脂肪肝の見分け方」

愛媛医療センター 消化器内科 廣岡 可奈 先生

【特別講演】 19:45～20:45

座長: 愛媛医療センター
消化器・糖尿病内科医長 山内 一彦 先生

「食後過血糖を防ぐ食べ方で 外食・中食・間食を楽しむ」

一般社団法人臨床栄養実践協会

理事長 足立 香代子 先生

日本糖尿病療養指導士<第1群(栄養)>
日本病態栄養学会が認定する研修会等 0.5単位認定 認定番号: 2019-098

※ 講演会終了後、情報交換会を予定しております。

共催: 生活習慣病エリアミーティング/興和株式会社



演者

年月日	講演1	講演2
2017.3.15	古くて新しい尿酸のお話 ー結晶化予防から臓器保護へー	臓器保護を目指した高尿酸血症の栄養療法 ー最近の進歩ー
	山内一彦	田中哉枝
2018.3.16	チーム医療とSGLT-2阻害薬で自己効力感を高め、体重・ 血糖コントロールが良好となった2型糖尿病症例の一例	新時代を迎えた2型糖尿病治療 ～個別化治療におけるSGLT-2阻害薬の役割～
	田中哉枝	麻生好正
2018.6.22	チーム医療とSGLT-2阻害薬で自己効力感を高め、体重・ 血糖コントロールが良好となった2型糖尿病症例の一例	消化器と糖尿病 最近の話題
	田中哉枝	山内一彦
2018.9.10	抗ウイルス療法(DAA)施行C型慢性肝炎患者における LDL-CおよびLDL-C/HDL-C比増加	難しく考えない『黒田流』カーボカウント
	田中哉枝	黒田暁生
2019.3.22	異所性脂肪と鉄に注目した当院における NASH症例への栄養療法	肥満・2型糖尿病患者に対する減量成功の秘訣
	田中哉枝	吉田俊秀
2020.2.13	本当は怖い脂肪肝の見分け方	食後過血糖を防ぐ食べ方で外食・中食・間食を楽しむ
	廣岡可奈	足立香代子
2021.3.31 【WEB講演】	当院NAFLD症例への栄養療法の工夫ー新規作成食品 常用量鉄早見表の使用や自己効力感を高める チームアプローチ	糖尿病診療(チーム医療) ～何をどう評価すべきか～
	田中哉枝	岩本正博
2022.2.21 【WEB講演】	当院NAFLD症例の肝脂肪量や肝硬度の増減と 栄養素・食品摂取量の検討	合併症抑制を目的とした糖尿病診療
	田中哉枝	金崎啓造

地域連携交流会開催による スタッフへの効果

同じ釜の飯を食べる はだかの付き合い

仲間意識、連帯感…



地域連携交流会開催による スタッフへの効果

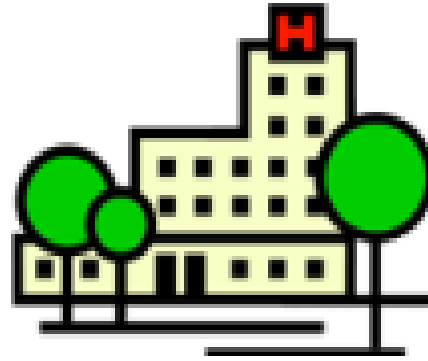
- スタッフが知識を得る場
- 次なる臨床研究への意欲向上
- 他職種、他施設のスタッフとの交流ができ、
糖尿病非専門の医療機関や施設に勤務する
スタッフには、日常の療養指導での悩みを相談
できる仲間作りができる



病診連携

かかりつけ医

診察・栄養指導依頼
定期チェック



患者さん



病院

診察・検査
栄養指導



まとめ

- 意思決定や伝達がスムーズなチーム構成
- 計画的・段階的に難易度を上げたスタッフ教育と教室運営
- 院内外の医療スタッフとの交流
- 自施設だけでなく、地域の医療の輪につながる活動

今後、さらにチーム一丸となり、患者さんの
思いに寄り添いながら地域に根差した活動を
広げていきたい

ご清聴ありがとうございました。

愛媛医療センター 糖尿病チーム医療委員会